



*海老名教会に繋がっている方々へ 共にお祈りを合わせましょう！

6月24日（水）創世記4章17～26節 讃美歌21－533

「再び、アダムは妻を知った。彼女は男の子を産み、セトと名付けた。カインがアベルを殺したので、神が彼に代わる子を授け(シヤト)られたからである。セトにも男の子が生まれた。彼はその子をエノシュと名付けた。主の御名を呼び始めたのは、この時代のことである。」（創世記4：25、26）

神様の憐れみによってカインは死から守られ、妻を迎え、子供を生み、地上の生を営みます。その子孫から家畜を飼い天幕に住む者がでました。そして、豎琴や笛を奏でる者、青銅や鉄でさまざまな道具を作る者も現れました。文明と文化が発達していく、生活の進化が見られます。しかし、その子孫であるレメクの話は私たちにぞっとさせます。当時は一夫多妻であり、その妻たちに誇らしげに自分の力の強さを語っています。復讐と報復の残忍性を語っています。そこには絶えず、自己防衛をしなければならない不安と悲劇が潜んでいます。ゆるしが無い、力の世界です。弟を殺したカインの子孫は、神様の保護に委ねることができず、神様の憐れみを忘れて、自己防衛と殺人の連鎖を徹底的に主張しているのです。悲しいカインの末裔です。

神様はアベルを失ったアダムに子孫を与え、主のみ名を呼ぶ者となりました。その子孫からアブラハムが生まれ、ダビデ、そして救い主イエス様の誕生に至ります。人間の罪と悪にもかかわらず、神様の救いの歴史は脈々と流れます。まさに恵みです。

<祈りの課題>

1. 海老名教会の礼拝に聖なる霊が豊かに注がれますように。主の御導きと祝福を祈りましょう。7月から始まる聖餐の恵みと祈祷会のためにも祈りましょう。
2. 海老名教会の一人一人の信仰と健康が守られますように。主に守られ、喜びと平安のうちに歩まれる日々でありますよう祈りましょう。
3. 日本だけではなく、全世界の教会が、この試練の中で主のみ言葉を力強く示し、伝道の業を成し遂げていくことができますよう祈りましょう。
4. コロナ・ウィルスの試練が、人間相互間の愛と絆を一層強める機会となりますに。また、自然と正しく向き合う知恵を得ることができますよう祈りましょう。
5. 医学的に良い結果が得ますように。研究に励んでいる人々のために祈りましょう。そして、コロナ・ウィルスの患者のために治療を行い、看病や世話をする人とその家族のために祈りましょう。
6. 今、病に苦しんでいる人々、また、不安と孤独の中にいる人々、経済的に苦しみを覚えている人々のために祈りましょう。
7. 子どもや高齢者、障害を持っている人々が、社会の苦しい状況の中でも守られますよう祈りましょう。

